

令和4年度

救急自動車（高規格型）

仕様書

佐野市

目 次

第1章 総 則	- 2 -
1 仕様書の目的	- 2 -
2 法的な適合と車体の条件	- 2 -
3 装備品等	- 2 -
4 契 約	- 2 -
5 提出図書	- 2 -
第2章 車両の仕様	- 3 -
1 車両の仕様に関する基本的事項	- 3 -
2 車両の主要諸元	- 3 -
3 車両装備品の仕様	- 4 -
4 ベース車両製造元が公表する付属品の他、次に掲げるものを付属すること。	- 6 -
第3章 車体の艤装等	- 6 -
1 車体の艤装に関する基本的な事項	- 6 -
2 車体外面の艤装	- 6 -
3 車体室内の艤装	- 8 -
4 通信設備等	- 12 -
5 車体表示	- 13 -
第4章 検 査	- 14 -
1 中間検査	- 14 -
2 完成検査	- 14 -
3 納入検査	- 15 -
第5章 納 入	- 15 -
1 納 期	- 15 -
2 納入場所	- 15 -
第6章 補 則	- 15 -

1 仕様書の目的

この仕様書は、佐野市（以下「当市」という。）が製作する高規格救急自動車（以下「救急車」という。）について、必要な事項を定める。

2 法的な適合と車体の条件

救急車は、この仕様書に定めるもののほか、道路運送車両法及び道路運送車両保安基準、その他の関係ある法規通達等に適合し、かつ、緊急自動車としての承認が得られるものであり、車体は、艀装を含めて、人員並びに救急資機材を積載した車両重量の状態において十分な耐久性を有するとともに、安全かつ安静に傷病者を搬送できるものであること。

3 装備品等

車両取付け品・装備品及び附属品は、すべて新規製品で十分な強度及び安定度を有し、耐久性及び耐食性に優れたものであるとともに、関係機関が行う認定、検定並びに検査を必要とするものについては、それに合格したものであること。

4 契 約

(1) 契約にあたっては、本仕様書の不明な点を事前に当市へ質疑し、内容を十分熟知のうえ了承して締結するものとし、契約以後の質疑等については、当市の解釈又は判断に従うものとする。

(2) 艀装にあたっては、当市の事業担当者と協議した後、艀装の詳細図面等（以下「承認図書」という。）を作成し、本市の承認を受けた後に着工すること。

また、艀装工作の都合等によりやむを得ない事由が発生し、本仕様書又は承認図書の内容を変更する必要があるとき、又は不明な点が生じたときは、必ず事前に当市へ連絡し、必要な指示を受けるとともに、その内容について双方が確認書等を取り交わし、誤りがないよう万全を期すること。

(3) 設計及び製作にあたっては、特許その他権利上の事項に十分注意し、支障が生じたときは、受注者においてその責任を負うこと。

5 提出図書

(1) 受注者は、救急車の製作にあたって事業担当者と十分打合わせを行い、艀装設計の承認のため、次に掲げる内容を満たす承認図書をA4版ファイルに綴り2部提出するものとする。

ア、 艀装承認図（艀装車両外観4面又は5面図を含む）

イ、 電気関係配線図（艀装等を含む）

ウ、 医療用酸素関係配管図

エ、 取付け品・装備品及び附属品明細一覧表

オ、 製作工程表

カ、 その他当市が指示した図

(2) 受注者は、完成車両を納入する際に、次に掲げる内容を満たす完成図書をA4

版ファイルに綴り 2 部提出するものとする。

- ア、 艀装外観 4 面又は 5 面完成図
- イ、 電気関係配線完成図（艀装部位）
- ウ、 医療用酸素関係配管完成図
- エ、 外観 5 面の完成写真（車両登録後）
- オ、 自動車改造計算書
- カ、 各種取扱説明書
- キ、 その他当市が指示した図

第 2 章 車両の仕様

1 車両の仕様に関する基本的事項

救急車に使用する車両は、現行の基準排出ガスレベルを達成した原動機を使用し、かつ、艀装開始前 3 ヶ月以内に製造されたものとし、密閉性を有するものであり、あらゆる救急活動に必要な設備及び各種救急資機材を効率よく確実に収納できる構造であるとともにこの仕様書において指定した装備品以外のものについては、純正品として製造元が公認する物品が装備されているものであること。

2 車両の主要諸元

(1) 車体寸法

救急車の車体寸法は、次に掲げるとおりとする。

- 車両全高 2,400 mm以上 2,500 mm以下
- 車両全幅 1,800 mm以上 1,900 mm以下
- 車両全長 5,300 mm以上 5,800 mm以下
- 室内高 1,800 mm以上
- 室内幅 1,650 mm以上
- 室内長 3,300 mm以上

(2) エンジン

総排気量 2,400 cc 以上とする。

(3) 使用燃料

レギュラーガソリンとする。

(4) 変速装置

変速装置は、オートマチックトランスミッションとする。

(5) 駆動装置

四輪駆動方式とする。

(6) ステアリング装置

ステアリング装置は、右ハンドル、パワーステアリング装置付きとする。

(7) ブレーキ装置

前輪はベンチレーテッドディスク式、後輪はリーディングトレーリング式とし、アンチロック装置付きとする。

(8) タイヤ

ラジアルタイヤ（幅185～205ミリ程度）を装着し、スペアタイヤも同様のサイズを装着すること。

(9) 安全装置

運転席及び助手席は、SRS エアバック装置、自動ブレーキ、車線はみ出しアラート、自動ハイビーム、車両接近周知（お知らせ）機能、横滑り防止装置、発進加速時空転防止装置付きとする。（メーカーオプションが無い場合は佐野市と協議）

(10) 乗車定員

乗車定員は、6名以上とする。

3 車両装備品の仕様

車両の装備品は、別表1に定めるほか次に掲げることを満たすものとする。

(1) バッテリー

バッテリーを電源とする赤色警光灯及びその他の灯火並びに機能を同時に賄える容量を有し、点検整備交換が容易に行なえる構造であるものとする。

(2)オルタネーター

車両のバッテリーを電源とする赤色警光灯及びその他の灯火並びに機能を同時に賄える発電量を有するものとする。（アイドリング状態で賄える発電量とする。）

(3) エアコンディショナー

当該車に適応する純正品とし、患者室内を十分に空調できる性能を有するものであるとともに、運転室と患者室の両方で調節可能な構造であるものとする。

(4) パワーウインドウ

可動ウインドウガラスは、車両純正のパワーウインドウとする。

(5) 前照灯

ディスチャージヘッドランプ（130Wクラス以上）又はLEDヘッドランプとする。

(6) フロントアンダーミラー

車体前方下部の状況を視認するアンダーミラーを車体左先端部に取付けること。
（同等品も可）

(7) 助手席用補助ミラー

隊長席から後方視界を視認できるバックミラーを運転室内に設け、車外後方視界を現認できる補助ドアミラーを左ドア上部またはドアミラー上を取付けること。

(8) バッテリー電流計

車両純正品（運転席で容易に視認できるもの）

(9) バッテリー電圧計

車両純正品（運転席で容易に視認できるもの）

(10) エンジン稼働積算計

製造元公認品（運転席で容易に視認できるもの）

(11) 後退警告装置

合成音声式（当市と協議）

(12) フォグランブ

車両純正品

(13) サンバイザー

車両純正品（運転席及び助手席）

(14) サイドバイザー

車両純正品（運転席及び助手席）

(15) 集中ドアロック

車両純正品（ワイヤレスリモコン、アンサーバック機能付き）

(16) カーナビゲーション

バックモニター・バックアイカメラ（車両周囲画像システムをカーナビゲーションで確認する場合は、電子インナーミラーとする。）・ナビ照明（夜間モード）スイッチ付（位置・機種等は当市と協議）

(17) 車両周囲画像システム

前後左右のカメラにより、カーナビゲーション又はルームミラー型のモニターで確認できること。

(17) ドライブレコーダー

（随時撮影タイプ16時間以上記録可能 ナビ連動 記録媒体付）

(18) ETC（セットアップ込）

運転室内に取付けること。（ナビ連動 位置・機種等は当市と協議）

(19) ハイマウントストップランプ

後部ドアの上部にハイマウントストップランプ（LED）を取付けること。

(20) サイドフラッシャーランプ

車体前部のルーフ側面又はドアミラーにサイドフラッシャーランプを左右に各1個取付けること。

(21) 電磁式半ドア防止装置

サイドスライドドア及び後部ドアに、電磁式半ドア防止装置を取付けること。

(22) 後部ドア部照明灯

サイドスライドドアステップ付近及び後部ドアに、照明灯を各1個取付けるとともに、点灯及び消灯が各ドアの開閉に連動して作動する構造とすること。

(23) 路肩灯

左右後輪付近に、LEDの路肩灯を各1個を取付けること。

また、側面下部からタイヤハウスにかけて熱伸縮チューブ（耐久性、防水性、飛び石等による損傷防止を目的）でカバーしたLEDテープ（運転席付近に別スイッチ設置）を取付けること。（同等の光度を有していれば同等品可とする。）

(24) デイタイムライト

フロントバンパー付近左右にLEDブルーを取付けること。（位置・機種は協議）

- 4 ベース車両製造元が公表する付属品の他、次に掲げるものを付属すること。
- (1) フロアマット 1式（車両純正品）
 - (2) 機械工具 1式（当市と協議）
 - (3) 非常表示装置 1式（停止表示板、発煙筒・信号灯）
 - (4) ドアロックリモコン付き予備鍵（アンサーバック機能付き） 3個
 - (5) ナンバープレートフレーム（ステンレス製） 前後各1枚
 - (6) その他の必要な付属品については、別表2に定めるほか、当市と協議のこと。

第3章 車体の艤装

1 車体の艤装に関する基本的な事項

救急車の艤装にあたっては、車両の重量軽減、防錆及び防水性を図るよう努めてアルミ又はステンレス及び堅牢な樹脂等を用いて艤装し、電装関係にあつては配線を内装の内側に隠蔽して車体内外に露出しない構造とするとともに、当市が支給する救急資機材を安全確実に積載し、かつ、効率よく活用できる配置並びに構造とすること。

2 車体外面の艤装

車体外面の艤装は次によるものとする。

(1) 車体の塗装

外装塗装は、白色のウレタン塗装とし、塗膜に保護コーティングを施したものとすること。

(2) 赤色警光灯

取付位置等は次のとおりとし、発光パターンはノーマル・ハイパー・ソフトの3種類で切り替え操作については当本部と協議すること。（別表1 No.25 参照）

ア、 ルーフ前方上部にLED点滅灯を用いた散光式赤色警光灯を車体と一体になるよう取付けること。

イ、 ルーフ後方側部の左右一対にLED点滅灯を用いた散光式赤色警光灯を車体と一体になるよう取付けること。

ウ、 ルーフサイド前方及び後方の下部又は前後（前段のア及びウに示す散光式赤色警光灯の下方又は前後）に、LED点滅灯をそれぞれ左右一対に取付けること。艤装するうえで増設できない場合は当市と協議すること。

エ、 フロントバンパーに、LED赤色点滅灯を左右一対に取付けること。（取付け位置については当市と協議）

オ、 後部ドア上部に、LED赤色点滅灯を左右一対又はビルトインによりに取付けること。（取付け位置については当市と協議）

カ、 車内後部右側にLED赤色点滅灯を取付け後部ドア開放時自動点灯するとともに、スイッチを設けることにより単独でも消灯できる構造とすること。

キ、 後部ドア内側下部の縁にLED赤色点滅灯を取付け、後部ドア開放時に自動的に点灯し、後方及び左右から容易に視認できる構造とすること。

(取付け位置については当市と協議)

ク、 各灯火ともサイレンに連動し自動的に点灯するとともに、スイッチを設けることにより単独でも点灯できる構造とすること。(電子サイレンアンプ可)

(3) 作業灯

左右ルーフサイドに、車体と一体になるようLED作業灯を各2個取付け、スイッチを設けること。(スイッチ取付け位置については当市と協議)

(4) バックドア連動ハザードランプ

バックドア開放と連動してハザードランプが点滅する構造とすること。

(同等の機能を有した装置でも可)

(5) サイレン

ア、 電子サイレンを吹鳴するためのスピーカーを、ルーフの高さを越えない位置に、車体の外観を損なわないよう取付けること。(位置は当市と協議)

イ、 モーターサイレンを、ルーフの高さを越えない位置に、車体の外観を損なわないよう取り付けること。(位置は当市と協議)

(6) プライバシーウインドウ

運転室を除くガラス窓には、患者室のプライバシーを保護するために暗色ガラスを用いるとともに、左側面の上1/2及び後部の上1/2に調光フィルムを貼付しスイッチで「透明⇄くもり」に切替できる構造とすること。(左側面、後部は別スイッチ)右サイド全面、左サイド下部から1/2、後部下側から1/2にくもりフィルムを貼付して、くもりガラス処理を施すこと。

(7) 電源コネクタ

車体外部の至便な位置に、AC100ボルト外部入力用マグネット式コンセントを設け、マグネット式外部電源接続コード(10m)を付属すること。(外部電源入力中は、エンジンが始動しない装置を取付け、通常時はインバーターに自動で切替わる装置とすること)

(8) 消防章

フロントパネル又はフロントグリル中央に、直径150ミリの消防章を取付けること。(位置は当市と協議)

(9) ステップ

車体後部のバンパー下に、患者室内に乗降するためのステップを設けるとともに乗降時にバンパーを傷つけないようステンレス板を用いてバンパーを保護する構造であること。

(10) 保護板

傷病者室のスライドドアステップ及びステップ立ち面に、アルミ保護板を取付けるとともに滑り止め加工を施すこと。

(11) 救助用器具

右側面の窓部分または右スライドドア内部に収納スペースを設け、下記の救助用器具を積載すること。

- ア、 バール（600ミリ）
- イ、 万能斧
- ウ、 シートベルトカッター
- エ、 ガラスカッター

(12) 反射テープ

各開口部を開けた際において、視認しやすい位置に赤色の再帰性反射テープを貼り付けること。（位置は当市と協議）

3 車体室内の艤装

車体室内の艤装は次によるものとする。

(1) 床面

室内の床は、雨天時の救急活動等で、室内が濡れ又は汚れても滑りにくく、清掃しやすいものとし、水拭きに耐える材質で防音、防熱加工を施すこと。

(2) 内張り

室内の内張りは、汚染及び消毒薬剤に充分耐えるものであるとともに、容易に清掃洗浄ができる材質であること。

(3) 座席（別表1 No.37・No.38 参照）

各座席は背もたれ付きであって、折りたたみ式又は跳ね上げ式の構造とし、サブストレッチャーでの患者収容が可能な構造とすること。

- ア、 高級前向き隊員席を取付け、座席下に消火器を設置すること。
（消火器は救急活動に支障がない位置であれば変更できるものとする。）
- イ、 ストレッチャー架台の頭部側に、患者処置用として後ろ向きのシートを設け、左手脇又は背もたれ部分に書類入れ（ベルト付）を設けること。
- ウ、 患者室後部の左側に、窓側を背当てにした横向きの2人又は3人掛けシートを設けるとともにシートの下には資機材を収納するためのボックスとして利用できる構造とし、シートには人数分のシートベルトを取り付けること。

(4) メインストレッチャー及びサブストレッチャー

患者室には、別表1のNo.40に掲げるメインストレッチャー及び支給するサブストレッチャーを搭載し、安全確実に固定すること。

(5) 防振架台

メインストレッチャーを搭載固定する架台は、自給式のエアサスペンションを緩衝装置とした防振機能又は磁気ダンパースプリングを緩衝装置とした防振機能を有するものとし、必要に応じて架台が左右にスライドできる構造であるとともに、別表1のNo.40で指定するメインストレッチャーが適合するものとする。

(6) 酸素吸入装置

- ア、 次に掲げる部品により構成する酸素吸入装置を取付けけること。
 - ・ 10リットル型酸素ボンベ固定用ブラケット（2組）
 - ・ ヨーク型減圧弁（2個）

- ・三方チーズ（1個）
- ・配管ホース（一式）（酸素チューブ2mを2本と酸素マスク2個を含む）
- ・加湿流量計付き酸素吸入装置 OX-III S（二連式：一式）

イ、酸素吸入装置付近の至便な位置に、酸素マスク等を収納するための収納庫を取付けること。

(7) スクープストレッチャー（ERGON）及びバックボード

ア、スクープストレッチャー（ERGON）を固定するブラケットを取り付け、走行時に振動しないよう確実に固定できるものとし、脱着が容易に行えるものとする。

イ、バックボードを固定するブラケットを取り付け、走行時に振動しないよう確実に固定できるものとし、脱着が容易に行えるものとする。

(8) 隔壁扉

運転室と患者室は隔壁扉（縦型収納庫兼用）で密閉できる構造とし、扉解放時はウォークスルー構造で、安全に往来できるものであること。

(9) カーテン

患者室後部窓は電動カーテンを取付け、電動カーテンスイッチを設けること。

（電動カーテンスイッチ取付け位置については当市と協議）

(10) サイレン（スイッチ等取付け位置は当市と協議）

ア、別表1・45番に掲げる電子サイレンアンプを、センターコンソールまたはインストルメントパネルの至便な位置に取り付け、運転席及び助手席の双方から容易に操作できる構造とすること。

イ、電子サイレンアンプは、ピーポー音で住宅モード機能を内蔵し、合成音声による出動予告放送及び各種広報が行えるマイクロホン付きとすること。

また、緊急走行中、右左折時に一般通行車両に対して、緊急自動車の通過を知らせることを目的として、方向指示器に連動した合成音声による放送ができるものであること。（サイレン連動とし、一般走行時は自動的に放送が停止されるものであること。）

ウ、モーターサイレン吹鳴用の押しボタンスイッチ（スイッチ位置がわかりづらい場合、照明機能を追加）を、助手席及び運転席（メーターパネル右）にそれぞれ設けること。

エ、緊急自動車の通過を知らせる音声合成装置の放送用スイッチを助手席及び運転中でも安全確実に操作できる至便な位置に設けること。

オ、出動予告放送用スイッチ（スイッチ位置がわかりづらい場合、夜間照明機能を追加）を電子サイレンアンプ取付け位置付近に設けること。

カ、助手席にモーターサイレン用足踏みスイッチを取付けること。

(11) フレキシブルマイク

運転席付近に、運転中でも安全確実に操作できる放送用フレキシブルマイクを設けること。

(12) 電源コンセント（取付け位置は当市と協議）

- ア、 AC100ボルト電源を出力するために300W正弦波インバーターを取付け、室内の至便な位置に3極コンセント（接地端子付き）を必要数設けること。（設置箇所及び口数は当市と協議）
 - イ、 AC100ボルト電源は、車体に設けた外部入力電源からの供給と正弦波インバーターからの供給が自動で切替わる構造とすること。
 - ウ、 DC12ボルト電源出力コンセント（シガーライターソケット）を室内の至便な位置に取付けること。（設置箇所及び口数は当市と協議）
- (13) 車載バッテリー充電設備
- AC100ボルト外部入力用マグネット式コンセントから自動的に車両バッテリーを充電できる充電設備を設け、全自動電子バッテリー管理器にて自動的に過充電や過放電を防ぐ構造とし、定電流方式を用い車両バッテリーのキャップを閉めたまま安全確実に充電できるようにすること。（取付け位置は当市と協議）
- (14) 地図入れボックス
- 運転席と助手席の間に小型収納庫(ポケット)付地図入れボックスを取付けること。（材質、大きさ、取り付け位置は当市と協議）
- (15) マップランプ
- 隊長席には、オーバーヘッドコンソール部分にLED灯を取付け、運転席及び後部隊員席には、ピラーにフレキシブルLEDマップランプを取付けること。（機種取付け位置は当市と協議）
- (16) スポットランプ
- 後部ドアの内側上部にスポットランプを取付け、後部ドア開放時に連動し、点灯と常時点灯及び、常時消灯の切替えスイッチを設けること。
- (17) 室内灯
- 患者室天井に、十分な照度を有するLED灯を取り付けること。
- ア、 LED灯は、基本左右各4灯、計8灯とするが当市が十分な照度が有していると認めれば変更できるものとする。
 - イ、 傷病者の症状、救急処置の利便を考慮した調光器を取付けること。
 - ウ、 スイッチを至便な位置に設けること。
- (18) 患者灯
- 患者室天井の至便な位置に、患者灯を取付けること。
- ア、 患者灯は、基本21W以上とし、左右各1灯、計2灯とするが当市が十分な照度が有していると認めれば変更できるものとする。
 - イ、 傷病者の症状、救急処置の利便を考慮した調光器を取り付けること。
- (19) ホワイトボード（ペンホルダー付）
- 患者室にホワイトボードを設置すること。（取付け位置は当市と協議）
- (20) ティッシュ・グローブボックスホルダー（4連）
- 患者室の至便な位置に設置すること。（取付け位置は当市と協議）
- (21) マグネット式ティッシュボックスホルダー
- (22) センサー類汎用ポケット
- センサー類等を収納する小物入れを設置すること。

(23) 網棚

患者室天井の至便な位置に、網棚を3箇所設けること。

(24) 資器材収納庫等

ア、 運転室と患者室の間に大型の収納庫（隔壁扉兼用）を設けること。隔壁扉として使用している時、資器材が落下しないよう落下防止布を取り付けること。収納庫扉表面及び裏面の仕様については協議して決定する。

イ、 ルーフサイド等の余剰スペースを活用して、資器材収納庫を取付け、必要に応じて扉及び棚・網棚等を設けること。（位置、構造は当市と協議）

(25) 手摺り等

患者室内には、次に掲げる手摺り等を設けること。

ア、 隊員の移動や活動時に体を支えるための手摺りを、天井に2箇所、ルーフサイドに2箇所、それぞれ取付けること。2箇所分の長さを有する場合1箇所でも良いものとする。

イ、 乗降を容易にするため、スライドドア開口部付近にグリップ及び後部ドア開口部付近に大型グリップ及び患者室座席後部にグリップを取付けること。

(26) 輸液ボトル固定装置

患者室内の至便な位置に、輸液ボトルを固定できる装置（2本分）を2箇所取付けること。（位置、構造は当市と協議）

(27) 汚物入れ

患者室内の至便な位置に、汚物入れを設けること。

(28) 洗浄設備

洗浄設備として清水タンク及び汚水タンクを取付けること。

ア、 清水タンク及び汚水タンクの容量は、各5リットル以上であること。

イ、 電動ポンプにより洗浄設備に清水が供給できること。

ウ、 汚水は、すべて汚水タンクに回収できること。

エ、 各タンクは、走行中の振動等により倒れることのないよう固定すること。

(29) 手指消毒薬入れ

洗浄設備付近に、手指消毒薬（1リットル）入れを設けること。

(30) 時計

患者室内に、デジタル電波時計を取付けること。（位置は当市と協議）

(31) 温度・湿度計

患者室内に、温度・湿度計を取付けること。（位置は当市と協議）

(32) バックドア用ストラップ

バックドアにロングタイプのストラップを取付けること。

(33) ネームプレート

各収納庫には、ネームプレートを取付けること。

(34) 資機材保管用フック

運転室及び患者室内の適当な場所に、資機材の保管等に用いるフックを堅固に取り付けること。（取付け位置、数量は当市と協議）

(35) コード吊り下げレール

医療機器用コード類を吊り下げるためのフック（C型ストップ機能付きフック 5 個）を固定するためのレールを、天井部右隅付近及び医療機器架台付近にそれぞれ取付けること。（位置は当市と協議すること。）

(36) 医療機器架台取付け用レール

医療機器架台中段の前後に 2 本取付けること。
（取付け位置は当市と協議すること。）

(37) 医療機器架台

患者室の右窓下側面に、別表 3 で当市が指定する各種医療機器を使い勝手を損なうことなく安全確実に固定できるとともに、機種によっては必要に応じて容易に脱着することができる構造の架台を、その機種ごとに設けること。（当市と協議）
ただし、別表 3 に掲げる医療機器は、当市の支給品とする。

(38) スイッチ照明（無線ノイズ対応型 LED）

車体艤装にて取り付ける運転室内各スイッチ上部にはヘッドランプ連動の防眩措置を施した照明、患者室内の各スイッチ上部にはスイッチ付の防眩措置を施した照明を取り付けること。（スイッチを視認できる光度を有していれば同等品でも良いものとする。）

(39) オゾン発生装置

患者室の至便な位置に車両電源と外部 100V のいずれでも使用可能なオゾン発生装置を取り付けること。

4 通信設備等

(1) 救急用無線機

本装置は、更新元車両から取り外して移設するものとし、当市と協議のうえ指定した位置に取付け、各配線は雑音混入防止策及び保護等を考慮し保護管付同軸ケーブルで内張りを通し、露出しない構造にするとともに、要所ごとに点検口を設けることとする。

ア、 車両積載用無線機の構成は、富士通ゼネラル製救急消防デジタル無線機（ハンドセット×2）、富士通ゼネラル製車両動態表示装置（制御部×1、主操作盤×1、補助操作盤×1）とし、無線機本体及び補助操作パネル（AVM）は、運転席付近に運転者の視界を妨げないよう台座、架台等を用いて一体となるよう取付け、主電源のトグルスイッチ（ON・OFF・ACC）は運転席から操作できる至便な位置に取り付けるものとし、車両動態表示装置（AVM）の主操作盤は患者室の至便な位置に取り付け、その他AVM制御装置は救急活動の妨げにならない位置に取り付けるものとし、取付け位置は当市と協議するものとする。

イ、 無線障害を防止するため、必要な箇所にアースボンディングを行うこと。

ウ、 電源のバッテリー側にヒューズ、ヒューズブルリンク等を取付けること。

エ、 無線機用送受信器を運転席及び助手席から取り出せる位置に 1 箇所、患者室の至便な位置に 1 箇所取付けること。

オ、 無線機用スピーカーは、運転室天井に2箇所、患者室に1箇所を至便な位置に取付け、運転室及び患者室のスピーカーについては埋め込みとし、至便な位置にON・OFF及び音量調節のスイッチを取付けること。（スイッチ設定がない場合は協議）

カ、 無線アンテナ用のマウントをルーフ上の2箇所（1200mm以上の間隔）に取付け、必要に応じて車内天井の内張りに点検口を設けるものとする。

(2) 携帯電話関係

患者室に携帯電話ホルダ設置用架台（2台分）を設け、スマートフォン対応型ホルダ（製品がない場合はマジックファスナー等）を取付けて電話を固定できる構造とするとともに、患者室に設けたシガライターソケットからの直流電源（12V）を用いて携帯電話に充電できる構造とすること。

（位置及びコンセントの口数等は当市と協議すること。）

(3) 映像伝送装置関係

患者室の至便な位置に、タブレット型PC等の映像伝送装置（当市から支給）を構成する機器を取り付けること。

なお、取付けにあたっては、当市が指定する伝送装置納入業者と綿密な打ち合わせを実施のうえ、装置の機能に影響を与えないよう施工するものとする。

5 車体表示

車体には、デカールステッカー等を用いて次のものを表示すること。

なお、剥がれやすい角部分は剥がれないよう処置を施すこと。

(1) ボディー両側面

書名	「佐野消防」
位置	ボディー両側面（標示位置については当市と協議のこと。）
字色	青色（再帰性反射材）
書体	丸ゴシック体（字の大きさ等は当市と協議のこと。）
書き方	左書き

(2) ルーフ両側面

書名	生命の星のロゴマークと「EMERGENCY MEDICAL SERVICE」
位置	両側サイド部（標示位置については当市と協議のこと。）
字色	青色（再帰性反射材）
書体	丸ゴシック体（字の大きさ等は当市と協議のこと。）
書き方	左書き

(3) 後部ドア

書名	「佐野消防」
位置	車両後部ドア部（標示位置については当市と協議のこと。）
字色	青色（再帰性反射材）
書体	丸ゴシック体（字の大きさ等は当市と協議のこと。）
書き方	左書き

(4) 後部ドア上部

書名	生命の星のロゴマーク、ロゴマークの下部に「EMS」
位置	後部ドア上部（標示位置については当市と協議のこと。）
字色	青色（再帰性反射材）
書体	丸ゴシック体（字の大きさ等は当市と協議のこと。）
書き方	左書き

(5) 対空表示（ルーフ上）

書名	「佐西A1」
位置	屋根中央部
文字	青色（再帰性反射材）
書体	丸ゴシック体（字の大きさ等は当市と協議のこと。）
書き方	縦書き

(6) 両側ドア上部及びフロント部右上

書名	「佐野西救急1」
位置	両側ドア上部前方
文字	青色（再帰性反射材）
形体	丸ゴシック体（字の大きさ等は当市と協議のこと。）
書き方	左書き

(7) 保安用反射表示

車体の周囲に、再帰性に富んだ反射材を用いて巻末別添図に示す反射表示を施すこと。（大きさ等については当市と協議のこと。）

第4章 検査

1 中間検査

救急車製作の途中において、艤装の状況等、本仕様書及び承認図に定める条件と照合し、また製作の途中に発生した疑義事項等を協議することを目的として、当市と受注者の協議により決定した日時及び場所において、受注者及び製作者立会いのうえ、次の事項について検査を行う。

- (1) 製作工程表との照合
- (2) 艤装承認図及び必要な図面との照合
- (3) 艤装・架装の施工状況

2 完成検査

製作完了後、当市が指定する日時及び場所において、受注者及び製作者立会いのうえ、下記の事項について行なうものとし、検査の結果、不備事項または不合格品があると認める場合は、当市の指示する日までに改修又は交換を行い、再度検査を受けるものとする。

- (1) この仕様書に定める艤装に関する一切の照合
- (2) 装備品及び付属品の機能・性能検査
- (3) 前項の他、当市が指示する事項

3 納入検査

納入検査は、当市が指定する納入場所において、受注者立会いのうえ、製作者並びに医療機器に関して所定の許可を受けた納入業者の説明のもと、艤装並びに積載品の性能及び数量と作動状況について実施する。

- (1) 各種検査証
- (2) 関係書類の照合
- (3) 資機材の規格及び数量
- (4) 主要装備、資機材の作動状況
- (5) 前項の他、当市が指示する事項

第5章 納 入

1 納 期

令和4年12月15日までに当市へ引き渡すこと。

2 納入場所

佐野市富岡町1391 佐野市消防本部

第6章 補 則

- (1) 本仕様書について、疑義又は変更せざるをえない事項が生じた場合は、当市に速やかに連絡するとともに、綿密に協議し、当市の指示を受けるものとする。
- (2) 本車両の保証期間は、納車後1年間とし、保証書を添付すること。ただし、各製造元が公表する保証期間がそれ以上の場合は、その期間までとする。
- (3) 保証期間を問わず、設計、製作及び材料不良等に起因する不具合箇所が発生した場合は、受注者の責任において早急かつ無償にて修理、改善を行うものとする。
- (4) 自動車登録及びリサイクルに関する手続き並びに緊急自動車の指定に係る手続等は受注者において行うこと。
- (5) 受注者は、当市と協議のうえ、完成車引渡後に車両及び資機材の取扱い説明を十分に実施すること。なお、派遣に対する一切の諸経費は受注者が負担すること。
- (6) 本仕様書に定める車種、艤装、資機材等の設置、各種申請及び検査にかかる諸費用は、自賠責保険、自動車重量税、及びリサイクル手数料を除き、すべて受注者の負担とする。
- (7) 本仕様書が提示された時期の前後にかかわらず、救急車に有用な変更若しくは改良が加えられ、若しくは新しい付属品並びに後継付属品が製造元から発表された場合には、その内容を当市に遅滞無く連絡し、必要な指示を受けること。
- (8) 当市と受注者は常に信義を重んじ、本仕様書に記した内容全般における疑義及び不備に関して良心を以って協議し、変更を加え、これを解決するものとする。

別表 1 車両装備品一覧

No. 1

番号	品名	数	仕様	
1	バッテリー	1式		
2	オルタネーター	1式		
3	エアコンディショナー	1式		
4	パワーウインドウ	1式		
5	前照灯	1式	ディスチャージヘッドランプ（130Wクラス以上）又はLEDヘッドランプ	
6	フロントアンダーミラー	1	フロント部	
7	助手席用バックミラー	1	2段式または別体式	
8	車外後方用助手席補助ミラー	1	助手席側部	
9	電流計及び電圧計	1式		
10	エンジン稼働積算計(デジタル表示)	1		
11	後退警報装置	1式		
12	フォグランプ	1式	純正品	
13	サンバイザー、サイドバイザー	1式		
14	集中ドアロック	1式	ワイヤレスリモコン・アンサーバック付き	
15	カーナビゲーション	1	バックモニター・バックカメラ付（電子インナーミラー可）	
16	車両周囲画像システム	1式	カーナビ又はルームミラー型モニター	
17	ドライブレコーダー	1	随時撮影タイプ（16時間以上記録可能） 記録媒体付	
18	ETC	1	運転室（ナビ連動）	
19	ハイマウントストップランプ	1	後部ドア	
20	サイドフラッシャーランプ	2	左右	
21	電磁式半ドア防止装置	1式	スライドドア・バックドア	
22	患者室ドア部照明灯（フットランプ）	2	スライドドア・バックドア	
23	路肩灯（メインスイッチ付）	2	左右 LEDライト	
24	デイトタイムライト	2	フロントバンパー付近左右 LEDブルー	
25	赤色警光灯	ルーフ前方	1	M150-TM02 インパネスイッチ付 設置できない場合に限り同等品を認める。 （要協議）
		ルーフ後方	2	M150-TM02 インパネスイッチ付 設置できない場合に限り同等品を認める。 （要協議）
		ルーフサイド前方後方下	2	大阪サイレン製 LF12 （協議により変更可）
		フロントバンパー	2	大阪サイレン製 LF11D（配線カバー付）
		バックドア上部	2	パトライト製 LP3
		バックドア内側下部	4	
		車内後部右側	1	パトライト製 LP3（後方向け） 又はコイト製同等品

26	LED作業灯（ルーフ左右各2個）	4	大阪サイレン製 LIA-200 スイッチ付
27	バックドア連動ハザードランプ	1式	
28	モーターサイレン	1	吹鳴リレー、スイッチを含む
29	プライバシーウィンドウ	5	左側面の上1/2、後部の上1/2はスイッチで「透明⇄くもり」に切替構造（左側面、後部は別スイッチ） 右サイド全面、左サイド下部から1/2、後部下部から1/2にくもりフィルムを貼付設置できない場合に限り同等品を認める。（要協議）

No. 2

番号	品名	数	仕様
30	外部電源入力マグネット式コンセント	1	インバーター・外部入力自動切替装置付
31	マグネット式外部電源接続コード	1	10m
32	消防章（フロントパネル）	1	150mm クロームメッキ製
33	リアステップ	1	ステンレス製バンパー保護版付
34	スライドドアステップ立ち面保護板	1式	アルミ製 滑り止め加工付
35	救助用器具収納庫	1式	壁付けラック（器具を含む）
36	再帰性反射テープ貼付	1式	赤色 70mm幅、各開口部
37	高級前向き隊員席	1	ハイバック（シートベルト付）座席下消火器設置（消火器位置は協議により変更可）
38	患者処置用後ろ向きシート	1	後ろ向き席左手脇書類入れ（シートベルト付）
39	2人又は3人掛けシート	1	収納庫、シートベルト付
40	メインストレッチャー（ベルト4本付）	1 1 1	スカッドメイト モデル9304 マットレスモデル359-M（枕有） 左右サイドアームプレート（クッション無）
41	固定用防振架台	1	自給式エアサスペンション 又は磁気ダンパー スプリング式
42	酸素吸入装置	1	二連式加湿流量計付き酸素吸入器 OX-III S ヨーク型減圧弁・ホース・チーズ
43	酸素マスク収納庫	1	
44	カーテン	1	バックドア部に電動カーテン
45	電子サイレン	1 2	TCD製 N160-CP01 及び NX11-CP01（N350-CP01付）設置できない場合に限り協議により大阪サイレン OPS-D151Q で可とする。（要協議） 右左折専用スピーカー（広報用メッセージ機能）
46	後退専用音声合成アラーム	1式	
47	フレキシブルマイク	1	運転席
48	正弦波300Wインバーター	1	バッテリー
49	AC100V出力コンセント	1式	インバーター・外部入力自動切替装置付き

50	DC12V出力コンセント	1式	シガーライター型
51	バッテリー充電設備	1	
52	縦置型地図入れボックス（ポケット付）	1	運転室
53	フレキシブルLEDマップランプ	3	助手席・運転席 患者室は固定式
54	スポットランプ	1	バックドア内側
55	室内灯（調光器付）	4	
56	患者灯（調光器付）	2	
57	ホワイトボード	1	ペンホルダー付
58	ティッシュ/グローブボックス4連	1	
59	マグネット式ティッシュボックスホルダー	4	
60	センサー類汎用ポケット	1	
61	網棚	3	患者室天井

No. 3

番号	品名	数	仕様
62	資器材収納庫等	1	運転室と患者室の間（隔壁扉兼用）
		4	ルーフサイド
		1	右側面窓下
		1	右側面窓後方（大型・二段タイプ）
		1	洗浄装置上
63	手摺り（アームレスト）	4	患者室 天井・側面
64	手摺り（バックドアは大型グリップ）	3	スライドドア1・バックドア周辺2
65	輸液ボトル固定装置	2	患者室天井
66	汚物入れ	1	カセットパック式または足踏み上蓋開閉式
67	洗浄設備	1	
68	手指消毒薬（1リットル）入れ	1	
69	デジタル電波時計	1	
70	温度・湿度計	1	
71	バックドア用ストラップ	1	ロングタイプ
72	ネームプレート	1式	収納庫等
73	資機材保管フック	1式	運転室、患者室等
74	コード下げレール（C型フック付）	1式	天井部右隅付近、医療機器架台付近
75	医療機器取り付けレール	1式	医療機器架台中段の前後
76	AVMモニター取付架台	1	運転室及び患者室
77	AVM制御装置取付架台	1	運転室
78	アースボンディング取付け	1	
79	無線機子機用配線	1式	
80	無線アンテナ用点検口及び配線	3	
81	AVMアンテナ用点検口及びフレキシブルホース	1	
82	運転室・患者室スピーカー	3基	運転室2、患者室

83	携帯電話用架台	1	携帯電話2台を積載可能とするもの
84	車載ホルダ	1	スマートフォン対応型
85	スイッチ照明	1式	無線ノイズ対応型
86	スクープストレッチャー用積載装置	1式	ERGON
87	ハイテクバックボード用積載装置	1式	
88	オゾン発生装置	1式	IHIシバウラ製 N920-RK01 オゾンUVエアクリアOUT-1T 付属品 プレフィルター3個 オゾン発生器(2本入)1個 又は同等品以上

別表2 車両附属品一覧

番号	名 称	数量	仕 様
1	フロアマット	2	運転席、助手席
2	工具	1	工具入れ付
3	停止表示板	1	
4	発炎筒	1	LED仕様でも可
5	ワイヤレスリモコン・スペアキー	3	アンサーバック機能付き
6	ステンレスナンバー枠	2	
7	スペアタイヤ	1	純正ホイール付き
8	タイヤチェーン	1	イエティネット
9	ジャッキ	1	
10	車輪止め	1	2個1組 ロープ付き
11	泥除け	4	全輪
12	ドアモール	2	運転席、助手席
13	ナイロン製牽引ロープ	1	牽引用アイボルトを含む
14	各電球、ヒューズ予備	1式	
15	タッチアップペイント	1	車両塗装色(白)
16	消火器	1	1.8ℓ 6型
17	後付け用小型収納ボックス	4	金属製10cm角程度(取付ビスを付属) (協議により変更可)

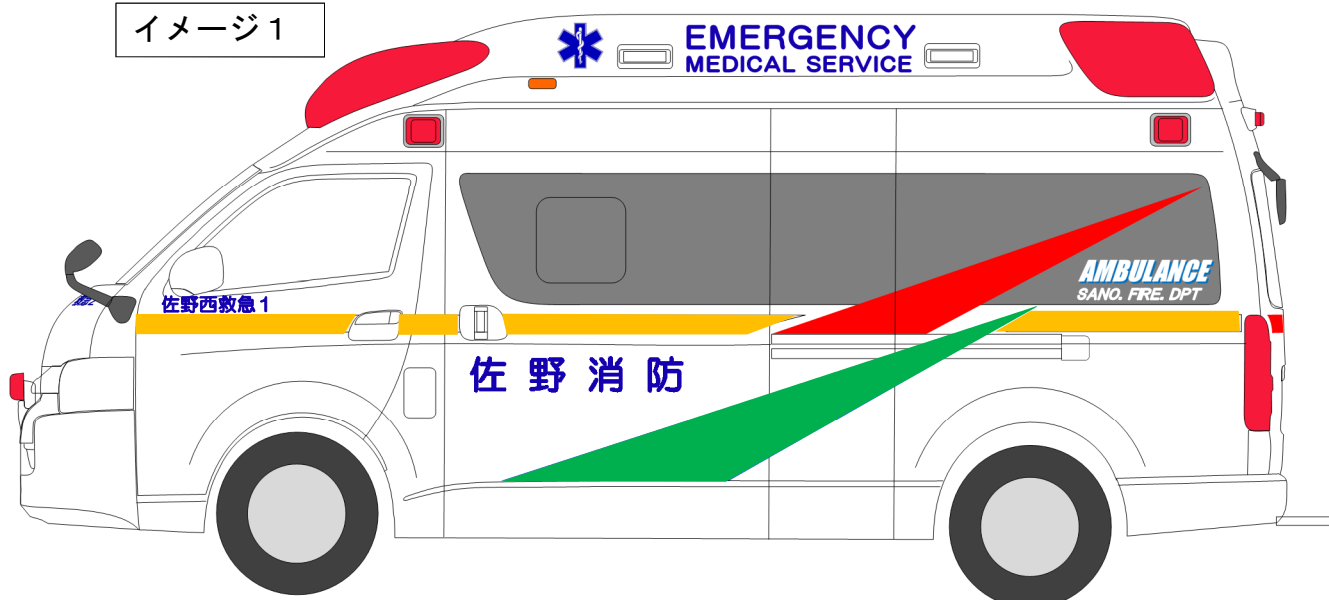
別表3 支給医療機器用架台取付け一覧

番号	品 名	数	機 種
1	自動体外式除細動器固定装置取付け	1式	ゾールメディカル X Series
2	電動吸引器固定装置取付け	1式	レールダル LSU4000
3	人工呼吸器固定装置取付け	1式	パラパック 300プラス
4	輸液用メディカルポール取付け	1式	テルモ TE-161等
5	心電図伝送装置固定装置取付け	1式	クラウド型映像伝送装置 V-FAST

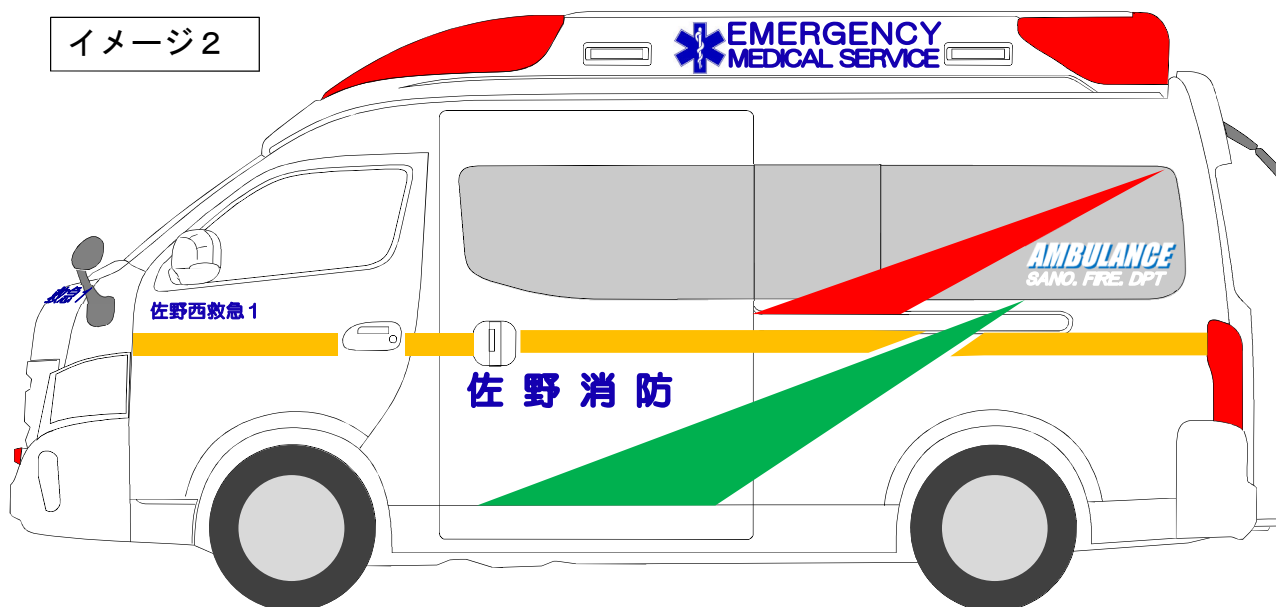
別添図【第3章 - 5 - (7)】

(1) 全体概要図

イメージ1



イメージ2



- ・ サイドの帯ラインは再帰性高反射のイエロー系

- ・ バックドアの帯ラインは再帰性高反射の赤
- ・ 車体側面の赤と緑のライン及び文字は 3M スコッチカル等の再帰性反射材
- ・ 後面ガラス下端に黄色の再帰性反射材で「救急車の適正利用にご協力ください」

(2) 後部側面ガラス 拡大図

